

# 会 議 録

## 1 会議名

平成29年度第7回三郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成29年度地域活動支援事業の完了等について（公開）

(2) 地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて（公開）

(3) 三郷区の地域課題について（公開）

## 3 開催日時

平成30年2月21日（水）午後6時23分から午後7時40分まで

## 4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

## 5 傍聴人の数

2人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：山口典夫（会長）、竹内浩行（副会長）、保坂裕子（副会長）、池内幸雄、伊藤善一、尾崎祐三、加藤与三郎、佐藤 功、二野 浩、保坂真由美、山田宏文、横尾彰平

・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、榎島係長、小林主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【小林主事】

- ・12名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は山口会長が務めることを報告

### 【山口会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：伊藤委員、尾崎委員に依頼  
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

【山口会長】

質疑を求めるがなし。

—次第3報告（1）平成29年度地域活動支援事業の完了等について—

【山口会長】

次第3報告（1）「平成29年度地域活動支援事業の完了等について」、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料No.1により説明。

【山口会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

—次第3報告（2）地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて—

【山口会長】

次に、次第3報告（2）「地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて」、事務局に説明を求める。

【小林主事】

資料No.2～5により説明。

【山口会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

—次第4議題（1）三郷区の地域課題について—

【山口会長】

次に、次第4議題（1）「三郷区の地域課題について」に入る。

今回は、前回の続きからグループ討議を行い、その後全体協議に入りたい。

グループ討議では、自主的審議に取り上げたいテーマを確定させ、提案理由や課題の

現状など、自主的審議に取り上げたい理由について話し合う。

グループ討議が終わったら、全体発表を行い、各班で挙げたテーマについて、三郷区地域協議会の自主的審議に取り上げるか、全体で協議する。

このことについて、質疑を求めるがなし。

以上のとおり進めることを諮り、委員全員の了承を得る。

#### —グループ討議—

#### 【山口会長】

グループ討議の結果をAグループから各班3分程度で発表を。

#### 【池内委員】

A班は先回、人口減少についていろいろ出したが、大きいものは我々の手に余るため、小さいものからしていったらどうかということで、課題の現状として出たのが人口の減少。それから空き家の増加などいろいろ書いてある中で、「手づくりマップで地域をアピールする」というテーマ名とした。

理由としては、地域の人口を増やす、地域の魅力を発信する、地域の目玉を発掘し情報を発信する。空き家などがあった場合は、手づくりマップなどに表示して、こういうものがあるという情報を発信すれば、人口減少や空き家の増加などに対応できるのではないかという話でまとまった。

#### 【山口会長】

A班は「手づくりマップで地域をアピールする」がテーマか。

#### 【池内委員】

そのとおり。

#### 【加藤委員】

B班は「三郷区の空き家の活用方法」というテーマを掲げた。それを進めることによって、少子高齢化の減少につながるのではないか、という意見が出た。

今後の課題だが、まずは町内会長を通じて現状を調べるのが提案された。

あと、補足を。

#### 【伊藤委員】

提案の理由として、少子高齢化が進み三郷区の人口が減ることが一番の課題としてある。それに伴って空き家があった場合、それをどううまく利用していくかという空き家

対策の問題が出てくるため、それについて挙げたい。

課題の現状としては、空き家の状況が全く分からないため、その辺をいろいろ調査したり、市の条例なども勉強したりしていかなければいけない。それをこれから皆さんと話していくことができればと思う。

**【山口会長】**

他に各班の委員から補足を求めるがなし。

A班のテーマは「手づくりマップで地域をアピールする」、B班は「三郷区の空き家の活用方法」でよいか確認を求め、委員全員の了承を得る。

このテーマを自主的審議事項として取り上げるべきか、意見を求める。

**【横尾委員】**

A班とB班は重複していると思う。空き家の現状をマップに表すと私は理解しているが、それでよいか。

**【池内委員】**

そのとおり。

**【横尾委員】**

取り上げた方がよい。共通していると思う。

**【二野委員】**

A班、B班共に、基本的には人口減少をどうするかという話だと思う。そのためA班、B班を一緒にした方がよいのではないかと。

**【山口会長】**

他に意見を求めるがなし。

A班のテーマとB班のテーマを一つにまとめ自主的審議に取り上げることについて採決し、全員の賛成により、一つにまとめることに決する。

**【佐藤センター長】**

A班、B班のテーマを一緒にしたときのテーマ名を今決めてほしい。

**【山口会長】**

「手づくりマップで地域をアピールする」と「三郷区の空き家の活用方法」を一つにまとめるとなると、どうするか。

**【横尾委員】**

2つ、つなぎ合せればよいのではないかと。

**【山口会長】**

そう簡単にはいかないだろう。

「三郷区の空き家の活用方法」をテーマにして、手づくりマップについては、その中の一つの項目とすればよいと思うが、このことについて委員に意見を求める。

【池内委員】

三郷区の空き家をどうしたらよいかというのがB班のテーマだったと思う。

【山口会長】

そのとおり。

【池内委員】

それだとあまりにも幅が広すぎるため、凝縮してマップでアピールしたらどうかというのがA班の話である。

【山口会長】

それが、「三郷区の空き家の活用方法」をまずテーマにして、その中で空き家の活用方法として手づくりマップを。

【池内委員】

そうではない。

空き家をどうしたらよいかというのはあまりにも大きいため、もっと小さいもので行ったらどうかということで、A班はこれにした。

【山口会長】

要するに、手づくりマップで地域をアピールすることを、自主的審議で議論を深めると。

【池内委員】

それは皆さんで決めていただければよいが、A班としてはそのとおり。

【山口会長】

先ほど自主的審議に取り上げるかどうか採決し、取り上げることに皆さん賛成された。

【池内委員】

それはよい。

【山口会長】

そうするとテーマを決めなくてはいけないため、「三郷区の空き家の活用方法について」を自主的審議しようと、今話をした。

そうではなく、手づくりマップについて自主的審議に取り上げるということか。

【池内委員】

A班としてはそういう話であり、少しニュアンスが違うということ。尾崎委員から説明してもらえば分かると思う。

**【尾崎委員】**

A班もB班も人口減少がメインだと思う。人口減少は大きすぎるテーマであり、地域協議会でどうこうという話ではないため、逆に外から住民を増やすために、手づくりマップを作って外に向けてPRし、その中に空き家情報も入れれば、外から来た方々に住んでいただけるのではないかと、という話がA班であった。

人口減少という大きな課題は双方同じだと思うため、一緒に審議することは問題ない。ただ、空き家だけの手づくりマップではない。手作りマップとは、もっと大きな意味の手づくりマップ。その中に空き家情報を入れる。空き家をメインにして、手づくりマップに空き家の情報だけ載せるということではなく、地域の魅力を相手に発信する中に空き家情報も入れるということ。

そのため、統一テーマを空き家メインにして、手づくりマップに空き家の情報だけ入れればよいということではない。全体的な情報発信の場を設けて、その中に空き家情報を一つ入れる。

**【山口会長】**

自主的審議としてテーマを絞った時に、A班は「手づくりマップで地域をPRする」を挙げた。これは分かる。では、それを自主的審議としてとして議論するか。

**【尾崎委員】**

非常に難しいテーマだと思う。

**【山口会長】**

そのため、「三郷区の空き家の活用方法」の中に。活用するには外へ向けたPRも必要になってくる。それは一つの方法論ではないか。

**【尾崎委員】**

私が言っているのはその逆である。

**【山口会長】**

先ほど、2つのテーマを合同にした方がよいとのことだったためそうしたが、合同にすると非常に長いため、とりあえず「三郷区の空き家の活用方法」を自主的審議にしようと話したら、そうではないとのことで、「手づくりマップ」をテーマにしたらどうかということ。

**【尾崎委員】**

空き家情報の自主的審議は、町内会長へ依頼して空き家情報を集めた後はどうするのか。自主的審議はよいが、情報を得たものをどうやって活用していくのか。そこから先はどうするのか。

**【山口会長】**

純然たる空き家と持ち主のいる空き家があるだろう。

その活用方法については、例えば手づくりマップ等を作成して外部にPRするのも一つの方法。そして住んでもらうとか、持ち主がよいと言えば借用して来てもらえば人口も増える。一つの方法論として、外部へ発信するのもよいのではないか。そういうことを自主的審議の中で議論を深めればよい。

**【池内委員】**

A班としては、地域の人口を増やすにはどうしたらよいか。魅力を発信したり、三郷区の目玉は何か。それから今の空き家というのは情報発信である。「こういうものがある」というのを全て網羅して、地域をアピールしたらどうかという話だった。

**【山口会長】**

それは理解できる。

今言っているのは、自主的審議するテーマを何にするか。「手づくりマップで地域をPRする」を自主的審議するのか、他の内容とするのか。もしするのであれば、手づくりマップではなく、「地域をPRする方法について」などにしないと。自主的審議はどういうテーマになるか、皆さんに考えてもらえば分かるとおおり。

**【横尾委員】**

結局、行き着くところは似ている。

**【山口会長】**

一緒である。ただテーマをどうするか。

**【横尾委員】**

別にした方がよいのではないか。人口減少等いろいろ嚙（か）みあっているが、まず三郷の空き家の現状を基礎として調査する必要があるのではないか。それにいろいろ対応する策を。外部から空き家へ入ってもらえば、少しは農業人口も増えたり、人口も増えたりするのではないか、という発想である。

**【山口会長】**

A班もB班も方向性は決まっている。そのテーマの絞り込みをどうするか。別々にするのであれば、それはそれでよい。

**【横尾委員】**

その過程の中でのマップ作りだと思っていた。それもどこかで一緒になるはずである。

**【山口会長】**

両副会長に意見を求める。

**【竹内副会長】**

三郷区の魅力づくり、アピールのみをテーマにすれば、その中に今のものが全部ぶら下がってくる

**【山口会長】**

A班、B班が決めたテーマについて、新たに全員で話した結果、内容を変えて自主的審議事項に取り上げるということか。

**【竹内副会長】**

そのとおり。

**【伊藤委員】**

短く簡単にすると、「三郷区の魅力活用方法」。話が大きすぎるとは思うが、お米のアピールなどいろいろなことができる。魅力をマップにすることもできるし、空き家対策も一緒にできる。

名前をどちらかにするのは難しい。二つを一つに、大まかな名前にした方が、二つ同時にできる。

**【山口会長】**

A班のテーマを否定するわけではないが、自主的審議としてテーマを挙げる場合は、一つの大きなテーマにして、そこから細分化して審議するものと思っている。伊藤委員のとおり、それには何があるのか、皆さんと意見を議論していく。そして、区外など他のところへ行き、研修などをして見聞を広める、あるいはここで勉強会などを行う。最終的に、上越市全体としてどうかというテーマも出てくるだろうし、三郷区の地域の中でどうだというものも出てくるだろう。こういったことが自主的審議に取り上げるかどうかの問題点である。間違っていたら訂正する。

**【横尾委員】**

私もそう思う。

**【山口会長】**

「三郷区における高齢者支援の取組について」では、会長が提案し、審議して、項目別にまとめた資料があった。ああいった形になる。その中に、手づくりマップの地域P



Rも出てくるだろう。それにはどうしたらよいかというのも、また出てくると思う。

**【尾崎委員】**

空き家にこだわるわけではない。空き家が最終的な問題かもしれないが、今の段階で町内会長に話をして、それだけで地域協議会で取り上げるのはどうなのか。できるのか。個人情報非常に騒がれている社会で、そこまで踏み込んで、地域協議会が町内会長へ依頼をして、それだけのテーマで話して終わってよいのか。結局、それがないとマップも作れない。できなければできないで、中途半端で終わってもよいのであれば、それでもよいが。

ただ、高齢者支援事業の話も、どこでどうなっていたか分からないが、いつまでもゴタゴタしていたため、会長同士でまとめて前へ進めてしまった。

そのため、空き家については、それだけで終わらせてしまってよいのか。より具体的に、テーマを細分化した中でのテーマとして、地域協議会で諮っていかなければいけないというのも分からなくもない。ただ、それだけ見ると、先が見えている。それだけを集めてマップで情報発信といっても、不動産屋ではないためできない。

**【池内委員】**

我々は空き家だけを話したのではなく、どこから見たら妙高山が一番よく見えるなど、三郷の魅力を情報として出したらよいのではないかとということ。

**【山口会長】**

言っていることはよく理解できる。

自主的審議に取り上げると皆さん賛成した。そのテーマをどうするか。「手づくりマップで地域をアピールする」というのは、テーマではないと思う。

**【池内委員】**

テーマとしては少しおかしい。

**【山口会長】**

おかしかったら、それをどうするか。皆さんに意見を求めている。

**【池内委員】**

情報をいろいろ入れたマップを作ったらよいのではないか。

**【山口会長】**

では、これから自主的審議に取り上げるために、テーマはどうしたらよいか。

**【池内委員】**

テーマと言われるとよく分からないが、空き家対策だけではない。

【尾崎委員】

では、大きくそのまま、人口減少。

【山口会長】

それをテーマにするか。

【尾崎委員】

私の案である。

【保坂副会長】

三郷区の魅力を発信し、人口減少対策を考える。三郷の魅力、自分たちの地元のよさを皆で考え、それを共有したうえで、三郷の人口減少対策を皆で考える。

【山口会長】

テーマ名は。

【保坂副会長】

言葉は練れていない。

【山口会長】

「人口減少について」を自主的審議のテーマにして、その中で今言ったことも話し合う。それとも、もっと分かりやすくした方がよいか。

【保坂副会長】

人口減少は大きいため、その中に空き家問題や、地元若い人がいない、流出してしまうといういろいろな問題があるため、「三郷地区の人口減少対策」のような形で大きくしておき、皆さんで枝をいくつか出し、優先順位を相談して決めていく方法もある。

【山口会長】

改めて採決を行う。

「三郷区の人口減少について」というテーマで自主的審議に取り上げることについて採決し、全員の賛成により「三郷区の人口減少について」を自主的審議に取り上げることに決する。

## —次第5 事務連絡—

【山口会長】

次第5「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

- ・地域活動フォーラム 3月4日(日)午後2時～ ユートピアくびき希望館  
\*参加は任意。三郷区地域協議会が事例紹介、パネラー。  
地域の方への積極的な声掛けをお願いします。

出欠報告は2月27日(火)正午までにセンターへ

- ・平成30年度第1回地域協議会 4月26日(木)午後6時～ 三郷地区公民館
- ・当日配布資料

ウィズじょうえつからのおたより

#### 【山口会長】

質疑を求めるがなし。

3月4日は、地域支え合い事業と(仮称)まちづくり振興会に取り組んだ経緯等を話したい。時間が許すようであれば、是非皆さんも来てほしい。他の3地区の話もある。先生からも非常によい話があるようだ。

- ・会議の閉会を宣言。

#### 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

#### 10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。